

本会記事

2019 年度秋季大会報告

2019 年度秋季大会は、10 月 22 日（火）～24 日（木）の 3 日間、名古屋大学豊田講堂において行われました。今大会の講演件数は、受賞記念講演 8 件、特別講演 6 件、招待講演 40 件、一般講演 155 件の合計 209 件と、ここ数年で最多の講演件数となり、3 日間全ての会場で朝から夕方までの時間を目いっぱい使った開催となりました。参加者数につきましても約 460 名と大変多くの方にご参加頂きました。開催直前まで心配されていた天候も初日の午後には回復し、上着を脱いで来場されるほどの良い天気となり、無事開催することができました。今まで何回か名古屋で秋季大会を開催しておりますが、名古屋大学での開催は初めてとなりました。緑に囲まれたキャンパスはとても開放的で、ダンスや太鼓などの部活動に励む多くの学生の姿から活発な雰囲気を感じることができました。会場となった豊田講堂は参加者数に対しても広さに十分余裕があり、吹き抜けとなっている 1 階アトリウムには休憩スペースが設けられ、大きな窓から明るい日が差す中、昼食を摂られたりパソコン作業をされたりする方が見かけられました。また同じくアトリウムでは、企業からの出展による展示会も例年通り開催され、今回は 10 社の出展がありました。今後も会員と出展企業に役立つ場を設けたいと思います。

以下にこの大会の概要を報告します。

○講演大会

今回の講演大会では、8 つの講演特集と、企画セッション「外場印加による粉体プロセスの新展開」が開催されました。初日の第 I 会場の講演特集「粉末積層 3D 造形技術と HIP/CIP」では、時間が足りないほどの多くの質問が寄せられ、大いに議論が深まる場面があり、また第 III 会場の講演特集「磁性材料・磁気デバイスにおける微細構造制御と機能発現」では一時立ち見が出る状況にもなるなど、どの会場も熱心な発表、活発な討論が行われました。特集の詳細な報告については会誌 67 巻 2 月号に総報としてまとめて掲載しますので、ご一読下さい。



○懇親会

懇親会は、約 130 名の参加者を得て大会初日の 18 時から名古屋大学豊田講堂アトリウムにおいて行われました。伊藤孝至実行委員長の開会の辞に始まり、目義雄副会長にご挨拶頂き、続いて水野豊元会長の乾杯のご発声で賑やかな懇親の場がスタートしました。屋台には握り寿司やステーキ、名古屋名物のきしめんも並び、懇親会のムードを盛り上げていました。愛知県産の日本酒が美味しく「つつい」という方もちらほら。食事を進めながら参加者の皆様が親交を深め、情報交換等をして頂く機会となりました。大会ご参加の皆さんは懇親会にも是非ご参加下さい。



来年度の講演大会は、春は 2020 年 5 月 26 日（火）～28 日（木）に早稲田大学西早稲田キャンパスで行い、秋は 2020 年 10 月 27 日（火）～29 日（木）に九州大学にて開催を予定しています。次号に春季大会講演募集のご案内をしますので、多くの会員方に発表と大会参加を頂きますようお願いいたします。

（藤原 明日里）